

絶滅の恐れのある種

(赤字は円山動物園の動物・H17・9月現在)

哺乳類	
Cr	アザラシ目
	アシカ
Vu	モグラ目
	チビトガリネズミ
	コウモリ目
	ヒメホオヒゲコウモリ
	ネコ目
	オコジョ
	アザラシ目
ゼニガタアザラシ	

鳥類	
Cr	ミスナギドリ目
	オオミスナギドリ
	ペリカン目
	チシマウガラス
	チドリ目
	ウミガラス
	エトビリカ
	フクロウ目
	ワシミミズク
	シマフクロウ
	キツツキ目
ミユビゲラ	
En	コウノトリ目
	サンカノゴイ
	コウノトリ
	タカ目
	イヌワシ
オオワシ	
オジロワシ	
クマタカ	
ツル目	
タンチョウ	
Vu	カイツブリ目
	カンムリカイツブリ
	カモ目
	シジュウカラガン
	サカツラガン
	ミコアイサ
	タカ目
	オオタカ
	チュウヒ
	ハイトカ
	ハヤブサ
	ミサゴ
	チドリ目
	アカアシシギ
	ウミスズメ
カラフトアオアシシギ	
ケイマフリ	
コジャクシギ	
ヘラシギ	
キツツキ目	
クマガラ	

爬虫類	
Vu	トカゲ目
	コモチカナヘビ

両生類	
En	サンショウウオ目
	キタサンショウウオ



◎オオワシ (En)

国内では、北海道東部を中心に国後島、択捉島、サハリンで越冬する。近年ではエゾシカの体内に残った鉛の銃弾を肉と共に食べて、中毒死するものがでて問題になっている。約5200羽が生息すると推測されている。



◎イトウ (Cr)

道北、道東地方に分布しているが、近年は生息する河川の多くで改修工事やダム建設が行われ、生息、産卵環境が急激に悪化、消失しており、その生息数は著しく減少している。

◎シマフクロウ (Cr)

日本産のフクロウの中では最大で、現在、約120羽ほどが北海道東部を中心に生息している。営巣する大木が切られてなくなったことや、ヤマメなど川魚の減少が個体数を減らしている。また、写真撮影等により繁殖を阻害されるなどが懸念される。



◎ハヤブサ (Vu)

北海道全域に留鳥として分布しているが、営巣するための断崖が、河川や海岸の開発で少なくなり、また餌となる動物からの農薬の影響によって減少している。



◎ゼニガタアザラシ (Vu)

日本では現在、襟裳、大黒島に限られ約400～550頭ほどが生息している。サケ定置網に引っかかり死亡することもあるが、減っている大きな理由は魚の減少である。



◎クマガラ (Vu)

留鳥として北海道全域に分布しているが、森林伐採によって巣穴となる幹の太い大木が減少したことや餌の減少。さらには繁殖期に写真撮影のための巣周辺への立ち入りによる攪乱で減少している。